

《発言を結びつけて話し合う 話例》

「優しさ」の定義について

司会 今回のテーマは「優しさ」の定義です。まずは、それぞれで考えたことを出して、次に、それらを整理して考えをまとめたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

（中略 それぞれが付箋ふせんに考えを書き出す。）

ナツ 「アキさんがドアを開けてくれた」というのは、「気くばりができる」ということだと思います。

フユ 確かにそうですね。それは「思いやりがある」ということでもあるように思います。

ハル 「気くばり」と「思いやり」は、どちらが見出し語になるだろう。

アキ 「気くばり」も「思いやり」も「相手のことを思った行動」という点で同じです。だからそれが見出し語になると思います。

司会 それで見出し語になりそうですね。次に、他の付箋を見ると「相手のことを思った行動」以外の見出し語がつけられそうなので考えてみましょう。

ハル 例えば、「優しい声」とか「優しい顔」とか「優しい人」は、「相手のことを思った行動」とはちよつと違うと思うな。

アキ でも、相手を思った感じがするということじゃないのかな。

ハル うーん……。確かにそうかもしれないけれど、そんなに相手への意識はないと思う。

ナツ なんか、穏やかとか……。そんな感じがするよね。

ハル、あ、それね、それに近い。

フユ じゃあ、「穏やかな様子」って見出し語をつけようか。

ハル あと、「地球に優しい」とか「肌はだに優しい」とかも、「相手のことを思った行動」とはちよつと違うと思う。さっきの「穏やかな様子」とも違うよね。

ナツ 両方とも、相手を傷つけないって感じだね。

フユ そうだね。「相手」って、「地球」とか「肌」だから、もう少し違う言い方ないかな…。

アキ 例えば「対象」ってどうかな。「対象を傷つけない」。

フユ そうだね。そうしよう。

司会 意見が出つくしたようです。そろそろ時間にもなるので、まとめたいと思います。

私たちのグループの結論は三つです。「優しさ」の定義の一つめは、「相手のことを思った行動」です。これは、実際に優しい対応をしてもらった経験や優しい対応をしたこと、その内容から考えました。二つめは、「穏やかな様子」です。例えば、「優しい声」「優しい顔」といった表現からそのように考えました。三つめは、「対象を傷つけない」です。これは、「地球に優しい」「肌に優しい」といった表現からそのように考えました。